

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2273200416		
法人名	株式会社アクタガワ		
事業所名	アクタガワ ハートフルホーム御門台 認知症対応型共同生活介護		
所在地	静岡県静岡市清水区七ツ新屋二丁目1-28		
自己評価作成日	令和 3 年 1 月 20 日	評価結果市町村受理日	令和3年4月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2273200416-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2273200416-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和 3 年 2 月 2 日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

力を入れている点は、「生活リハビリ」です。当社が独自で行っている物で、お客様の残存機能に注視し生活動作の中でリハビリを行っています。例えば、洗濯物を畳む際に、座りながら行うのではなく立ちながら行う事で下肢筋力の向上・維持を図ったり、歩行訓練では、5mのタイムを計測して前回と比較しPTが評価しています。PTが月に一度身体能力を評価し、一人一人の課題、レベルに合わせた目標を設定しています。いつまでも自分らしく生活して頂く為に力を入れて取り組んでいます。又、現在はコロナの影響で実施出来ていませんが、希望者は1階のDSで提供している「華道」「書道」「音楽療法」「手芸」に参加して頂いています。GHはどうしても閉鎖的な空間になりがちです为上記の様な工夫をしています

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

事業所は積極的に地域の行事に関わり、関係性を大切にして地域連携に力を入れている。職員は年齢に幅があるが意思疎通が取れており、何でも話せる風通しの良い関係性ができている。言葉がけには感謝の気持ちを伝えるように意識して取り組んでいるため利用者や職員は表情が明るい。理学療法士(PT)がプログラムの作成や指導を行い、生活リハビリに力を入れている。1階にデイケアや小規模多機能ホームがあり連携が取れ、感染症対策は徹底して行っている。会社は保育施設やコミュニケーションアプリを取り入れる等の働きやすい環境づくりに力を入れている。資格取得にも注力し、会社独自の資格検定や評価システムがあり職員のやる気を引き出している。また、地区別にブロック長がいてケアに悩んだとき、わからないことは何でも聞ける体制作りができています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	普段から目に入る事務所内に理念を掲示し会議時にスタッフ間で確認をしています。又、職員は個別で目標を立て毎日自己評価を行っています。(管理者との面談で見直しを図っています。)	理念はグループホームの入り口に掲示されていて、経営理念とグループホームの理念を会議で唱和している。職員は3か月に1度、3～4項目目標を作成し、毎日評価している。法人独自のアプリで職員同士で褒めあう仕組みを作り、やる気をひきだしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年はコロナの影響により中止になってしまいましたが、自治会主催の盆踊り大会での露店出店や氏子総代会主催のお日待ち行事で休憩所として協力をさせて頂いたり、地区の春祭りや地域防災訓練に参加させて頂いております。	コロナ前は地域の盆踊りに出かけて行ったり、子ども神輿の休憩所に訪れる子供達との触れ合いに利用者が喜んでいました。事業所のふれあい祭には近隣の住民が多く参加してくれ、地域の行事の一つになっていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区のどぶ掃除を地域の方々と時期を合わせ行っています。また、近くの職場体験場としての受け入れも行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年は書面での実施となっておりますが、奇数月第2木曜日に運営推進会議の定期開催をし、活動報告を行い地域の悩み等を一緒に解決するよう話し合いを行っております。	民生委員、自治会長、氏子代表、地域包括支援センター職員が参加、時折家族の参加がある。居宅とデイサービスの職員も参加し、事業所の報告と地域の問題点についても話し合い職員も情報を共有し運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの職員や民生委員に参加していただくことで連携しています。包括が実施している研修等に管理者が参加しています。	コロナ禍の運営推進会議開催について市に相談し、議事録の記録方法などの確認や連絡は密に取っている。地域包括支援センターと連携して、認知症カフェを開催していた。今年は合同で「認知症の人の徘徊者を探す訓練」を行い、介護相談員も参加してくれた。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ宣言をすると共に、身体拘束適正化検討委員会を3月に一度開催しています。検討した内容を月に一度行われるチーム会議等で全職員に周知しています。	指針は法人で作成し、各グループホームで職員も閲覧している。委員会はホーム長、グループホーム長、計画担当の3人で3か月に1度会議を開き、法人から提示されたテーマの研修を行っている。運営推進会議で内容を報告している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待マニュアルを作成し常に注意を払い防止に努めています。又、皮下出血などが発生した場合は、環境とケアの見直しを行っています。		

静岡県( )

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については年間研修カリキュラムのなかで学んでいます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には重要事項説明書等を用いて御説明・ご質問の時間を用意しご理解・納得をいただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現在、コロナの影響で面会を控えて頂いておりますので定期的に電話にて本人様のご様子を報告しています。又、その際に意見を頂くことも有りますので対応しています。又、利用者アンケートを通し、ご意見聴取し対応検討を図っています。職員間では申し送りノートや朝礼、昼礼、カンファレンス、チーム会議にて情報の共有・対応に努めています。	御門台通信は毎月、グループホームだよりは2か月に1度、写真を多く載せ作成し、家族に郵送している。面会時に要望や意見を聞いていたが現在は電話で伺っている。各利用者の日頃の様子や表情を撮った個別のアルバムを作成して以前は面会時に見せていた。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	チーム会議や日常的に意見を言える環境作りを行っております。又、重要な意見は、チーム会議時に議題として挙げ、全員で解決できる様にしています。	職員は月1回のチーム会議で積極的に意見を出し合い、日頃からコミュニケーションが取れている。法人が作成したアプリで連絡を取ることも可能になっている。申し送りノートも活用して情報を共有している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度ごとに個人目標を設定し半期ごとに評価面談をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修プログラムに基づきステップアップ方式の社内研修に臨んでいる。社外研修に関しては情報の提供をし個人の希望も募っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所連絡会への出席や外部研修会場での交流を図っている。空き情報の共有も同時に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に事前訪問を行い、ご本人のご要望を聞き取り、お試し利用をさせていただきお客様が満足していただけるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お問い合わせ時や入居前の訪問時にご要望をお伺いすると共にお試し期間中のご様子をお伝えし望ましい対応について話し合い決めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずは寄り添い傾聴し情報を職員間で共有できるよう努めると共に、併設のデイサービスでのカルチャー教室や合同イベントに参加できる場の提案をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭きや洗濯物を一緒に干したり調理を手伝っていただき、日常生活全般を一緒に行うようにしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	個々の生活歴や日々の語り、ご家族との会話の中から拾い上げていきケアへと結びつけていけるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在はコロナの影響で直接会っての面会は控えさせて頂いて居ます。その為、Zoomを使用しての面会を実施しており、実際に利用させて頂いております。又、機械に慣れていないお客様にも対応出来るように、iPadを準備させて頂き、当社の駐車場の車の中から面会出来る様に対応しています。	コロナ前は家族や知人、友人が訪問してくれたり、家族とは外出、外食があった。現在はZoomやiPadでの面会になっている。家族会は年に1回開催していた。また、デイサービスの生け花や手芸教室に出かけて趣味を楽しんでいた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関わり合いの機会を増やせるようフロアでの座席位置の配慮やレクレーションを始める際に一人ずつ自己紹介をして頂く等工夫しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行事等へのご招待・御連絡をさせていただいております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り寄り添い、会話を傾聴しご要望に沿えるようチームコミュニケーションを円滑に保てるよう努めています。又、コミュニケーションが取りづらいお客様には、表情や生活歴から汲み取り、より個人を尊重したケアが出来るように心掛けています。	新人研修で傾聴の研修は重点的に行っている。現在事業所ではユマニチュードの研修を行っている。法人でチーム研修とスキル研修の年間計画があり、本社の教育チームが職員を個別に指導している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴や日々の語らい、ご家族との会話の中から拾い上げていきケアへと結びつけていけるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各々の個別対応表を基にお客様の特徴を捉え職員が統一できる介護を重視している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月チーム会議を行いカンファレンスの中で意見やアイデアを出し個別対応表を作成しています。又、計画作成担当者とも連携を取り介護計画に反映できるように努めている。	毎月のチーム会議で利用者全員のカンファレンスを行っている。モニタリングはチェックシートがあり、職員がチェックしグループホーム担当が総評を行い、それに基づいて、計画作成者が介護計画書を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を用い職員間で情報を共有し、計画についてチーム会議で話し合い見直しや実践に繋げている。現在は毎日のプランの実施状況も記録している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助や理美容の手配、併設施設のデイサービスのカルチャー教室、イベントへの参加取り組みを行っています。		

静岡県( )

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣店舗での買い物や、近所へのお散歩時のご挨拶を心掛け、地域行事への積極的参加に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回の定期診療と週に一度の訪問看護を実施しています。24時間オンコールで対応して下さっており、医療行為が必要になってしまったお客様でも各自相談し、診療や訪問看護の回数を増やしたりして対応して下さいます。	利用者全員が協力医に月2回往診を受け、24時間オンコールになっている。他科の初期対応はしてもらえ必要に応じて紹介状を出してくれる。訪問看護の実施もあるが、多くの利用者がデイサービスの利用者だった為、緊急時はその看護師に相談している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医との連携を密にし指示をいただいています。併設デイサービスの看護職員がすぐに対応・支援できる体制もできている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関の相談員との情報交換を行い、退院後の処置や対応に関して主治医に相談し決めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に法人の指針を説明し、同意書を頂いております。状態が悪化した際には、ご家族と主治医と管理者でムンテラを行い、意向の再確認を行っています。その際の意見を基に方針を決定し、実施しています。	入居時に法人の指針を説明し同意書を取り交わしている。状態が悪化したら救急車の要請等家族の意向を再確認し、医師、家族、職員で今後の方針を話し合っている。法人は職員に看取りの研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	異常時・緊急時対応マニュアルを有し、チーム内研修を通じて対応の確認をしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	6月と11月に避難訓練を実施しています。6月は夜間想定で行った為、緊急連絡網の確認と避難経路の確認、備蓄品の確認を行いました。11月は消防所が来所して下さり消火器の使い方や避難方法の指導を職員、お客様に対し行ってくださいました。	年に2回訓練を行っている。昨年は夜間想定訓練も行った。緊急連絡網は事業所の近隣に居住する職員から順に連絡がいくようになっていく。備蓄は法人から送られており、備蓄台帳もある。発電機もあり、職員は全員操作ができる。長期停電の訓練も行っている。	1ユニットの事業所なので夜間は1人態勢のため、訓練を重ねて、不安がないような準備をしてください。地域連携ができていますので災害の時にも協力してもらえ体制づくりに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇に対しては1か月に一度スキル研修の際に行っています。声掛けや会話の中に感謝の言葉を必ず用いる様に全職員心掛けています。	個人的なことは耳元で話しかける等プライバシーに配慮をした支援を行っている。また、研修でユマニチュードを取り入れ言葉かけにも気を使っている。利用者や職員同士でも感謝の言葉を添えることも心掛けている。不適切な対応が散見した際は施設長が個別に指導することもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日中の勤務を厚くし、お散歩や買い物のご希望に添えるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り寄り添い対話をしている。ご希望に応じ、外出・気分転換できるよう勤務配置に心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類はすべて個人の持ち込みとし、更衣時には服を選んでいただいている。理美容を利用できる日を月に一度設け、希望に合わせていただいています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	二時間前から食事の支度を始め、匂いや音などで調理過程を感じて頂き、食欲が湧き美味しく食べて下さる様に支援しています。又、月に一度昼食作りレクを行い、お客様も交えて作ったり、意見を集め食べたい物を作ったりしています。人気があるのは、寿司や海鮮丼です。	食材配送業者から毎日食材が届き、食事の2時間前から職員が調理を始め、匂いや音で五感を刺激して美味しく食べてもらえるようにしている。おやつは手作りをしている。月に1回は昼食レクで利用者と一緒に作ったり、お取り寄せで楽しみを作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関しては業者メニューによりバランスとカロリー管理をしている。水分に関しては摂取量を記録に残し把握するよう対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前には全てのお客様が口腔ケアをしていただいているから就寝されている。日中はお声掛けし誘導・付き添い対応をしている。		

静岡県( )

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間テープ止めで対応しているお客様も日中はリハビリパンツで過ごして頂いて居ます。重度化してきてもテープ止めには安易に変更せず、なるべくトイレでの排泄が継続出来る様に支援しています。	排泄チェック表で利用者個々の排泄パターンを把握して支援している。夜間おむつ使用の利用者でも日中はトイレ介助をし、リハビリパンツから日中は布パンツで夜間はパット交換になった改善例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や腹部マッサージ、水分摂取の声掛けをさせていただいています。服薬による調整も主治医に相談しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご希望に添えるよう努めています。基本としては週に3回入浴できるよう声掛けにて確認し個別対応を実施している。又、お客様には無理強いせず、拒否が有った際には時間をずらしたりして対応しています。お客様と職員では信頼関係が構築されており、同性介助の要望は御座いません。	入浴日は基本月、水、金曜日とし10時から16時まで入浴支援をしている。シャワー浴の利用者は足浴と同時に行う。拒否の強い利用者には無理強いせずに入浴したくなるような声かけを工夫している。入浴剤を使用して楽しく入ってもらえるように心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の睡眠パターンを把握し不眠時には付き添い、状況に応じて日中休息できるよう対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケアカンファレンスの際に服薬している薬の情報を共有しています。又、薬の変更が有った際は、薬名と理由、効能をノートに記し、チーム全員に周知しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人生活の中での役割が出来上がっている。職員も都度声掛けにより番をつくり協働することに努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日中外出したいと思う気持ちを大事にし、その場で即座に応じられることを目標とし、日中の職員配置を心掛けている。又、月に1回は屋外歩行訓練を行うようにし外出計画の話題を持つようにしています。	コロナ前は市内の商業施設へ出かけたり、季節ごとに様々な花を見に出かけていた。現在は車中ドライブで窓からの眺めを楽しんでもらっている。また敷地内の駐車場や隣の駐車場の中を外気浴を兼ね散歩している。	



静岡県( )

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	他のお客様とのトラブルを避ける為、基本は事業所管理としていますがお客様のご要望があればご家族の了承のもとお客様管理のお財布も持てるよう対応しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の了承が得られればご本人自ら電話をしたり手紙でのやり取りができるように努めています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の生活空間は家庭的な設備や物品としてご利用者の馴染みやすい空間を心掛けている。	事業所の近くには新幹線や幹線道路があるが静かな環境でリビングは陽当たりも良好である。換気は常時行っていて、消臭にも気をつけている。月に1回業者が床磨きに来てくれていてきれいである。畳のスペースは洗濯物を置いたり、ちょっと休む場所になっていたり活用している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の生活空間にソファを配置し独りになれたり気の合う方と話せる空間作りに努めています。和室も自由にご利用できるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に「出来る限り使い慣れたものを」とお願いしており、ご本人が落ち着ける環境になるようご本人・ご家族と相談させていただいています。又、ご家族が部屋の準備を行っている際は、転倒のリスクを軽減する為介護職員からアドバイスをさせて頂いております。	天井までのクローゼットが付いていて、リハビリパンツやパッドは収納されている。家で使っていたタンスや椅子が入居時家族のレイアウトで置かれ、その後は動線を確保して配置している。塗り絵をたくさん飾ってあったり、自作の手芸品をタンスの上に飾ったりと個性のある部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりを設け、お客様の安全を確保すると共に自由に往来できるようにしています。トイレ内や浴室内等の細部にも工夫をしています。		